

## 市民部長マニフェスト

市民部長 渡辺 耕次

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

### 私の思い

市民部の仕事は、その名のとおり市民にもっとも身近で、市民が快適な生活を送れるようにするためのものであると考えています。

市民課は、市役所の顔として市民満足度の高い窓口業務を目指します。今年度はマイナンバーカードの普及にも努めてまいります。

人権施策は、同和問題の再認識に取り組むとともに、いじめやヘイトスピーチ、LGBT、DV、拉致などの新たな人権問題にも取り組んでまいります。

国民健康保険事業は、市民の健康を守るため、関係各課と連携し、保健事業をより充実させてまいります。また、平成 30 年度からの府への財政運営主体が移行することに備えて、単年度黒字を増やし、累積赤字の縮減を図ってまいります。

環境施策では、引き続きごみの減量化や河川の水質浄化に取り組み、関係団体とともに啓発を図ってまいります。



(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

### 重点課題

- ① 窓口業務の充実
- ② 新しい人権問題に対する啓発と同和問題の再認識に向けた取組
- ③ 国保財政の健全化と保健事業の推進
- ④ 安心して暮らせる生活環境の推進（ごみの減量化及びリサイクル化）
- ⑤ 安心して暮らせる生活環境の推進（河川の維持管理）

## 窓口業務の充実

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

### 遂行目標

行政サービスに対する需要が多様化、複雑化する中において、市民満足度の高い窓口業務の充実に取り組みます。

また、マイナンバー制度の開始による住民情報の適正管理に努めるとともに、マイナンバーカードのさらなる普及を目指します。

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

### アウトプット（活動指標）

2016 年 3 月 31 日現在、本市のマイナンバーカード申請件数は 5,374 件、うち 1,915 件を交付していますが、窓口の混乱等を考慮しながらも、遅滞なく迅速に交付するよう土曜日の交付業務を実施します。

また、2018 年までに人口の 2/3 にあたる 48,000 件を達成するため、広報誌やウェブサイトを利用し、PR に努めます。

今年度は成人人口 59,000 人の 1/3 にあたる 20,000 人へのマイナンバーカード交付を目指します。

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

### アウトカム（成果指標）

マイナンバーカードの普及により、カードの多目的利用が可能となり、煩雑な行政手続が簡素化され、市民への負担が軽減されます。

## 新しい人権問題に対する啓発と同和問題の再認識に向けた取組

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

### 遂行目標

拉致問題、ヘイトスピーチなど新しい人権問題の中から課題設定を行い「人権を考える市民の集い」を中心に啓発を行います。同和問題については、発生した差別事象を契機に問題認識を明らかにし、何ができるか検討し、実行し、検証を行い、今後の担当課の施策に反映させます。

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

### アウトプット（活動指標）

市民主導でリビエールホールの小ホールを使用し講演会を1回開催するとともに街頭啓発を2回行います。また、差別事象の啓発については、個々の事業所、個人及び市民一般を対象に、文書、広報などを有効に組み合わせて啓発を行います。

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

### アウトカム（成果指標）

課題設定を行った人権問題にかかる、講演会や街頭啓発、に市民主導で取り組んでいただき200名程度の方々に関心をもっていただき、それぞれに実践を促し、啓発の核となっていただきます。

また、個々の差別事象を起点に当該事象に関わりのある方々と市民一般の両方に啓発を行い、身近な事柄の中での「気づき」を促し、改善に取り組んでいただける条件づくりを行うことで、一人ひとりの人権が守られ誰もが生きいきと暮らしている地域社会の実現を図ることができます。

## 国保財政の健全化と保健事業の推進

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

### 遂行目標

#### 1 国保保健事業の推進

特定健診と特定保健指導及び人間ドックなどの予防医療を充実させることで、病気の早期発見、早期治療を推進するとともに、健康なからだづくり事業に取り組むため、健康づくりに関係する各課との連携を深めることで、市民全員を対象とした健康教室等の活性化を図り、健康意識の向上に努めたいと考えています。

#### 2 国保財政の健全化

平成30年度から、国保の財政運営の責任主体が都道府県に移行することに備え、本市の国保運営において、単年度黒字を絶対要件とするために、医療費支出の削減を図るとともに、保険料率等の適正な賦課と収納率の向上及び滞納処分の厳格化を図ることで、特別調整交付金や各種補助金の獲得に努めます。

一点目として、生活習慣病に罹らないために、特定健診と特定保健指導の受診を促進します。特に、今年度は、特定保健指導において、管理栄養士を嘱託職員に迎え入れ、食生活から改善していくための保健指導も取り入れ、糖尿病や高血圧症の予防に努めます。また、大病にならないための人間ドックやがん検診など予防医療の必要性を自覚して受診していただき、さらに、セレクトウェルネス事業として開催する健康教室などにも参加していただくことで、個々の健康づくりが実践できることを目指します。

二点目として、収入面での財源確保に努めてまいります。保険料に関しては、適正な保険料率を設定をした上で、現年度分の収納率の向上を図り、滞納繰越となった分についても、預貯金や生命保険等の差押えなど厳正な滞納処分を実行することで、保険料負担の公平性の確保に努めます。また、健全な国保事業の運営を行うことで、特別調整交付金の獲得や府補助金の増額などの財源確保により、単年度黒字とすることで、累積赤字の解消に努めます。

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

## アウトプット (活動指標)

### 国保保健事業の推進

#### 特定健診受診・特定保健指導利用の奨励

＝前年度から、特定健診の検診項目（クレアチン、尿酸）を増やしたことで、信頼度と注目度を高めることができました。さらに、前年度の実績を上回ることを目標として、受診者数を5,000人に、保健指導利用者数を300人に到達させることを目指します。

#### 人間ドックの受診勧奨

＝昨年度から提携医療機関を増やしたことで、受診希望者の利便性を高めることができ、今年度からは4月1日から受診できる体制を作り、今年度の目標受診者数を1,000人とし、早期発見・早期治療の重要性を広め、健康管理意識を高めます。

### 国保財政の健全化

#### 医療費の抑制

＝レセプト点検の強化と、国保データベース資料を利用した保健師や管理栄養士の個別指導による適正受診の徹底により、保険給付費の対前年度伸び率を、1%までに抑えます。

#### 財源確保

＝保険料率等の適正な賦課と収納率の向上及び滞納処分の厳格化を図ることにより、保険料全体収入率の確保と、健全な国保運営による特別調整交付金や、保険財政共同安定化事業の激変緩和措置適用など、各種補助金の獲得に努めます。

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

## アウトカム (成果指標)

健康への関心が高まることで、健康教室や健診を通して市民同士あるいは市民と医療機関相互の交流が図られ、市全体が健康づくりに対する気運が醸成されます。また、常に健康であれば、継続的な医療費負担はもとより突発的な医療費の支出も不要であることから、健康で明るい家庭生活が築いていただけるとともに、国保財政の安定化に繋がることで保険料の低額化を図ることができると見込まれます。

## 安心して暮らせる生活環境の推進【ごみの減量化及びリサイクル化】

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

## 遂行目標

○循環型社会の実現に向け、ごみの減量化やリサイクルを更に推進し、環境負荷の少ない、資源の循環利用に取り組みます。また、市民・市民団体・事業者・教育関係・行政による協働で3R運動の取り組みや情報提供により、一般廃棄物の減量化の推進に取り組みます。

## 3Rに対する啓発事業の強化

## ○環境フェアの実施

6月5日の「環境の日」に合わせて、6月第1日曜日、市役所内特設会場において各種団体と実行委員会形式で開催します。

イベント内容として、ごみ減量3Rに関する各種団体の出店、フリーマーケット、水辺の自然教室など環境に関する啓発活動を一体的に実施します。

## 3R推進事業の実施

## ○リサイクル促進事業の実施

地域住民による集団回収が市域全体での取り組みとなるように、一層啓発してまいります。

## ○リユース・リサイクルフェアの実施

市民の皆様から、不要になった子ども服・陶磁器製食器並びにガラス製食器を各公共施設に設置しております回収ボックスで回収し、再利用を目的としたリユースフェアを開催します。なお、残った陶磁器製食器につきましては、リサイクルを行います。

## ○環境セミナーの実施

市民団体と大阪教育大学との連携により、未来を担う若者と市民が環境について学び考え伝えあう環境セミナーを実施します。

○リサイクルの啓発強化として、ペットボトル、牛乳パック、古紙回収等の事業を継続して実施してまいります。また、使用済小型家電の回収を含め、資源の有効利用の啓発を行ってまいります。

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

### アウトプット (活動指標)

3Rの推進事業を実施します。

○集団回収事業を一層啓発することにより、回収量100tの増加をします。

(回収実績)【H25】1,203t、【H26】1,218t【H27】1,229t

○子ども服リユースフェアを実施し、1500kg以上回収をします。

(回収実績)【H27】1,130kg

○陶磁器・ガラス製食器リユースフェアを実施し、2,000kg以上回収します。

(回収実績)【H26】1,450kg【H27】2,800kg

○環境セミナーを実施します。

市民団体と大阪教育大学との連携により、大阪教育大学柏原キャンパスにおいて公開授業を実施します。

【H27】2部構成で、市民36名、学生40名参加

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

### アウトカム (成果指標)

集団回収への助成をはじめ、ごみの分別・減量を図ることにより、循環型社会構築を目指します。ひいては、地球温暖化対策への寄与も期待することができます。

## 安心して暮らせる生活環境の推進【河川の維持管理】

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

## 遂行目標

- 市民協働で清掃等を行い、継続的に河川の維持管理に努めます。  
恩智川の美化や水質など河川環境に対する意識向上を図るため、河川管理者である大阪府と、恩智川流域市となる大東市、東大阪市、八尾市、柏原市の 4 市で連携し、取組みを推進することで、水環境豊かなまちづくりを目指します。

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

## アウトプット（活動指標）

- 恩智川ワークショップを開催します。  
住民と協働で、流域住民の環境美化意識の向上のための取組みを検討し、実施するため、年 5 回ワークショップを開催します。
- 恩智川の河川清掃を実施します。  
年 1 回、流域住民とともに恩智川の河川清掃を実施します。
- 定期的に恩智川の河川水質を調査し、監視します。  
柏原市では、八尾市境界で年 6 回水質調査を実施します。

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

## アウトカム（成果指標）

流域住民の河川環境意識の向上を図ることで、親しみのもてる水辺空間を創造します。